



天城町立 天城中学校

生徒数 62 人
学級数 5 クラス



《テーマ》

認め合い 伝え合い 主体的に学び合える生徒の育成
～自己有用感を高める教育活動を通して～

研究に当たって(テーマ設定の理由)

本校の課題は、「自己有用感や自尊感情、他者を思いやれる言動の育成」である。そこで、他者との関わりの中で、自分のよさや大切さとともに他の人のよさや大切さを理解し、思いを伝え合うことを通して、安心して学べる集団を目指し、主体的に学び合える生徒を育成したいと考え、本テーマを設定した。

研究の実際

4月11日(火) いじめ問題を考える週間【道徳の授業】
5月16日(火) 人権旬間【人権講話(生徒対象:講師招聘)】
5月23日(火) 人権旬間【人権教室(生徒会主体)】
7月5日(水) 公開研究会に向けた模擬授業
8月29日(火) 職員研修(講師招聘)
9月7日(木) いじめ問題を考える週間【人権教室】
11月14日(火) 地区指定「人権教育」公開研究会
12月5日(火) 人権講話(生徒対象:講師招聘)
12月25日(月) 県いじめ問題子供サミット
1月18日(木) いじめ問題を考える週間【人権教室】
2月26日(月) 職員研修(今年度のまとめ)

特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

- **人権教室(生徒会主催)～いじめ問題を考える週間・人権旬間の取組～**
生徒会が主催する人権教室を毎年行っている。今年度5月は、縦割り班でテーマについての話し合いによって出された意見等を基に『みんなが安心して過ごせる学校づくり宣言』を作成した。9月には、本宣言文の内容を実現していくための具体的な行動はどうあるべきかについて全学年でリモートによる意見の交流を行った。12月25日に行われた「県いじめ問題子供サミット」では、これらの取組を発表することができた。1月も人権教室を実施した。
- **校内環境の整備**
メッセージを伝え合うことや活動を振り返ることを目的に、「ありがとうの木」や立志式や入試に向けての掲示物を作成した。また、「人権について考える」コーナーを設置し、関連図書や人権学習の振り返りや感想を掲示した。生徒作品には、生徒自身の振り返りと教師のコメントを併せて掲示した。
- **話し合い活動の充実**
互いの思いを大切に、考えを広げ深める話し合い活動を目指し、「目的」、「方法」を明確にして話し合いをすること、返事・反応・応答の仕方を身に付け習慣化することを意識しながら話し合いの練習を行った。また、ファシリテーションのスキルを身に付けるための指導も行っている。話し合い活動は、全ての授業で教科の特性や学習内容に応じて実践することで更にスキルアップを図っている。



【人権教室】



【ありがとうの木】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの姿、よかったこと、今後やってみたいこと)

- 話し合い活動を通して、相手の意見をしっかりとした態度で聞けるようになり、また、自分の意見を根拠をもって伝えることができるようになってきた。話し合い活動の活性化が図られてきている。
- 話し合い活動で、ファシリテーター役を変えながら、全ての生徒にファシリテーターを担える力を身に付けさせ、話し合い活動の更なる充実を図りたい。
- 毎時間の振り返りを通して、生徒に主体的に学習に取り組む態度を身に付けさせ、人権を尊重する態度と学力を向上させていきたい。